

会計名			企画展開催事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	歴史博物館	
10	6	14							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的	歴史博物館において企画展を開催し、刈谷やその周辺の地域の歴史に関して学ぶ機会を提供する。また遠方の歴史資料を借用公開することで、様々な歴史資料に触れる機会を市民に提供する。	主たる内容	○企画展の開催 ○次年度以降の企画展開催の準備 ○企画展に伴うワークショップ、講演会、イベントの実施					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法、博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成30年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		—		—		・水野勝成展の開催 ・企画展関連イベントの開催 ・次年度以降の企画展開催の準備		・水野勝成展の開催 ・はこぶものたち展の開催 ・中条遺跡展の開催 ・豊田佐吉・喜一郎展の開催 ・企画展関連イベントの開催 ・次年度以降の企画展開催の準備	
成果		・3月24日の歴史博物館オープンと同時に企画展「初代刈谷藩主 水野勝成展」を開催した。 ・企画展の内容や展示資料が、新聞・テレビ等のメディアに取り上げられ、来館者数増加につながった。							
課題		・企画展の準備や運営方法において、よりコスト削減できる方法を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		企画展来館者数（人）			—	—	5,922	30,000	30,000
成果指標		来館者アンケートの満足度（％）			—	—	76.0	80.0	90.0
他市との比較検証		「初代刈谷藩主 水野勝成展」は年度をまたいだ開催であるため、比較する指標はない。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	7,139	29,522	合計	7,139,450 円	
	財源	特定財源	0	0	204	570	賃金	170,480 円	
		一般財源	0	0	6,935	28,952	旅費	779,100 円	
	職員人件費 ②		0	0	6,172	12,384	需用費	1,930,770 円	
	総事業費（①+②）		0	0	13,311	41,906	委託料	4,246,600 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入			
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			企画展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	6	14			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	歴史博物館において定期的に企画展を開催することで、リピーターの増加及び、来館者層の拡大を図ることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐと共に、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度はなじまない。市が主体となって取り組むことで、市の魅力発信にも繋がる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	魅力ある企画展を継続的に開催することで、他市からの来訪者の増加も期待できる。さらに、市民の文化財保護や郷土の歴史に対する意識の向上にも繋げることができる。
今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
<p>今後は年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。貴重な文化財の公開にあたっては、輸送や展示において破損や劣化を防ぐため、一定のコストがかかるが、展示内容によっては入館料を設定し、一部受益者負担も検討する。</p>					

会計名 一般会計			文化財保存整備事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	2					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	文化財の修復及び複製を製作することで、文化財の保存を図る。また、市民の文化財に対する興味関心を高めるため、歴史博物館での展示活用を図る。			主たる内容	○市指定文化財を始めとした文化財の修復 ○刈谷市に関係のある文化財の複製製作			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
			根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成26年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 「伝通院調度品」の複製製作 「水野忠政画像」（名古屋市博物館所蔵）の複製製作 		<ul style="list-style-type: none"> 「肴町の山車」の台輪の修復 「亀城小学校額絵」の修復 出土土器復元及び彩色 市指定史跡「椎の木屋敷跡」への防犯灯設置工事 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史の小径案内板の貼替 「刈谷町鳥瞰図」の修復 市指定文化財「細井広沢扁額」の複製製作 泉田古墳出土遺物の保存処理 市指定史跡「椎の木屋敷跡」外灯LED取替工事 		<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財「鉄錆地塗紺糸絨塗込仏胴具足」の修復に向けた学術調査の実施 市指定文化財「奴のねり」の道具の修復 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 歴史の小径案内板の張替えを7か所行い、史跡めぐり等で活用できるようにした。 額絵「刈谷町鳥瞰図」の修復や市指定文化財「細井広沢扁額」の複製製作、泉田古墳出土の金属製品の保存処理を行い、歴史博物館等での展示公開が可能な状態にした。 市指定史跡「椎の木屋敷跡」の外灯をLEDに取り替え、終夜点灯して夜間の安全性を高めた。 							
課題		市が所蔵する指定文化財をはじめとする歴史資料の保存状態の調査が課題。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		修復文化財数（点）			0	2	1	1	1
活動指標		複製製作文化財数（点）			2	0	1	0	1
他市との比較検証		豊田市では、27年度は2点、28年度は2点、29年度は1点の修復を行い、その他28年度には1点複製を製作した。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		4,052	2,198	8,260	1,400	合計	8,259,991円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	6,460,711円	
		一般財源	4,052	2,198	8,260	1,400	工事請負費	1,799,280円	
	職員人件費②		782	775	463	317			
	総事業費（①+②）		4,834	2,973	8,723	1,717			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化財保存整備事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	普通	市民の財産である文化財を保護保存することは、文化財保護法に規定されている業務である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	文化財の修復には取扱いに習熟している専門業者への委託が不可欠であるが、修復方法については市の学芸員とともに調査・検討することで、より効果的な方法で実施した。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	文化財は未来の市民へ繋いでいくべきものであり、市の事業として実施すべきものである。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	修復や複製を製作することで、歴史博物館等の施設での公開が可能となり、文化財の活用を図ることができる。	
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	損傷が激しい文化財については、今後とも適宜修復を行っていく。 また、歴史博物館での展示公開等を考慮して、刈谷市にとって重要な資料は複製を製作し、展示公開には複製を活用することを今後検討していく必要がある。				

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	14					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化					
			基本施策	歴史・文化財					
			施策の内容	歴史博物館の整備					
	目的		歴史博物館の適正な管理を行うことで、収蔵品や展示資料にとって最適な環境を維持する。また、来館者にとっても快適に施設を利用してもらえるよう、建物管理を行う。			主たる内容	建物清掃委託や諸設備の管理業務委託など、歴史博物館の維持管理を行う。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	博物館法、文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成30年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		—		—		<ul style="list-style-type: none"> ・建物清掃委託 ・空調設備保守管理業務委託 ・消防用設備保守管理業務委託 ・エレベーター保守管理業務委託 ・電気工作物保安管理業務委託 ・樹木等管理業務委託 ・警備保障業務委託 等 		<ul style="list-style-type: none"> ・建物清掃委託 ・空調設備保守管理業務委託 ・消防用設備保守管理業務委託 ・エレベーター保守管理業務委託 ・ガスヒートポンプ保守点検業務委託 ・電話交換システム保守管理委託 等 	
成果		施設、設備等を適切に維持管理することで、歴史資料や文化財を適切に保存・管理することができるとともに、市民に快適な鑑賞環境を提供することができた。							
課題		文化財を保管しているため、施設の状態に常に注視し、異常があった場合に速やかに対応する必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
成果指標	総入館者数（人） 平成30年度は3月24日～	28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標		—	—	9,800	40,000	40,000			
他市との比較検証	開館が3月24日であったため、他市との入館者数の比較はできない。								
C 事業コスト	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①	0	0	87,808	56,243	合計	87,808,336 円		
	財源	特定財源	0	0	5	92	需用費	13,143,773 円	
		一般財源	0	0	87,803	56,151	役務費	320,936 円	
	職員人件費 ②	0	0	1,659	6,734	委託料	6,646,301 円		
	総事業費（①+②）	0	0	89,467	62,977	使用料及び賃借料	10,530 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		30年度特定財源名称			備品購入費 67,686,796 円		
	30年度までの累積事業費	0		土地建物貸付収入					
	2年度以降の事業費見込	0							

会計名			文化財保存管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	歴史博物館	
10	6	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	文化財の保護と整備を行い、史跡等を適切に管理する。また、文化財を啓発普及するため、「歴史の小径」の活用を図り、市内外に向けて広報することで、文化財に対する興味関心を高める。	主たる内容	○史跡の維持管理及び樹木剪定等の管理 ○「歴史の小径」「椎の木屋敷跡」他のパンフレット等の改訂・印刷					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（松本市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（五條市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（金沢市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史の小径増刷 文化財説明板・文化財修繕 文化財保護審議会委員県外研修（高岡市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 ※椎の木屋敷跡他史跡管理は史跡管理事業へ移行	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡などの史跡の維持管理及び高木剪定等を実施し、良好な状態に保つことができた。 歴史の小径パンフレット「城下町周辺コース」を増刷し、文化財の啓発や史跡めぐりに生かすことができた。 はた織り機などの文化財を修繕し、展示や体験講座等に生かすことができた。 刈谷に関りのある貴重な歴史資料を購入することができた。 							
課題		文化財の啓発と周知を図るため、「歴史の小径」等パンフレットを更に活用するとともに、ガイドボランティアとの連携を一層活発化させていく必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標		草刈・清掃等史跡管理回数（回／年）	12	12	12	12	12		
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）	35.0	—	33.2	39.6	46.0		
他市との比較検証		西尾市 草刈・清掃等史跡管理回数（4回程度／年）							
C 事業コスト		単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①	4,262	6,156	5,694	3,452	合計	5,693,953 円		
	財源	特定財源	7	7	7	0	報償費	32,380 円	
		一般財源	4,255	6,149	5,687	3,452	旅費	147,460 円	
	職員人件費 ②	313	233	309	310	需用費	417,839 円		
	総事業費（①+②）	4,575	6,389	6,003	3,762	役務費	24,025 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		30年度特定財源名称			委託料	4,058,100 円
30年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料			使用料及び賃借料	9,296 円	
2年度以降の事業費見込		0					備品購入費	924,853 円	
						負担金、補助及び交付金	80,000 円		

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	6					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国の登録文化財である郷土資料館の適切な施設管理を図る。		主たる内容	国の登録文化財である郷土資料館の施設管理				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	文化財保護法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・指定管理者制度実施		・指定管理者制度実施		・指定管理者制度実施		・指定管理者制度実施	
成果		・指定管理者への管理委託を行い、国登録文化財の適切な管理と運用に努めた。							
課題		・建物が登録文化財であるため、施設の状態に常に注視し、異常があった場合に速やかに対応する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
成果指標		総入館者数（人）			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
指標				15,080	13,000	10,311	10,000	10,000	
他市との比較検証	郷土資料館が昭和30年代の展示やイベントを実施するにあたり、参考とした館と入館者数。 ・北名古屋市歴史民俗資料館 年間46,895人（平成28年度）								
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		18,834	19,584	21,877	26,609	合計	21,877,354 円	
	財源	特定財源	0	0	0	660	役務費	83,727 円	
		一般財源	18,834	19,584	21,877	25,949	委託料	21,793,627 円	
	職員人件費 ②		625	620	617	619			
	総事業費（①+②）		19,459	20,204	22,494	27,228			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化財保存事業費補助事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	6	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	市指定文化財の修復等の補助を行うことで、文化財所有者の負担を軽減し、貴重な文化財をより長く保存し後世まで残すことができる。			主たる内容	市指定文化財の修復など保存事業への補助				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市文化財保護条例、刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱							
		対象者	指定文化財の所有者			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財である「伝通院調度品」の内、「枕屏風」の修繕費補助 市指定文化財「専光寺のクスノキ」の樹勢回復事業費補助 		—		<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財を保管している野田史料館の空調改修工事費への補助 市指定文化財「野田雨乞笠おどり」で使用する法螺貝の補修に対する補助 		<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財「静観堂屏風」の修復費への補助 市指定文化財「小垣江の山車」の幕の更新に対する補助 		
成果		<ul style="list-style-type: none"> 野田史料館の空調改修工事に対して事業費の1/2を補助し、指定文化財を含む多くの文化財が適正な温湿度の下で保存できる状態にすることができた。 市無形民俗文化財「野田雨乞笠おどり」で使用する法螺貝の補修に対して事業費の1/2を補助し、適正な状態で継続的に使用できる状態にすることができた。 								
課題		個人や団体等が所有する指定文化財の保存状態等の把握に関して、聞き取り確認やアドバイスを行うことのできる機会をもっと設ける必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		補助件数（件）			2	0	2	2	—	
指標										
他市との比較検証		近隣市の市指定文化財保存事業費補助金交付割合 ・文化財収蔵施設の建設（改修含む） 安城市…1/3以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…1000万以内 ・無形民俗文化財の道具の修繕 安城市…10/10以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…上限なし								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		137	0	441	11,568	合計		440,640 円	
	財源	特定財源	0	0	0	150	負担金、補助及び交付金		440,640 円	
		一般財源	137	0	441	11,418				
	職員人件費 ②		156	0	231	271				
	総事業費（①+②）		293	0	672	11,839				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			市史資料整理活用事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	歴史博物館	
10	6	1							
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	刈谷市の歴史に関わる資料の調査・整理を行い、歴史資料の保存と活用を図る。また、資料公開のための準備をし、活用を図る。		主たる内容	市内外における歴史資料の調査を行い、刈谷に関する資料を収集し、データベースを作成する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理	
成果		・資料調査によって、新しく発見した資料を収集し、整理できた。 ・整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用し、市民に刈谷の歴史を啓発できた。 ・マイクロフィルムの紙焼きを進め、市民が閲覧できる環境を整えた。 ・新聞記事により、刈谷関係および文化財関係記事のデータベース化を行った。 ・資料の整理に時間を要し、資料内容の分析に十分取り組むことができなかった。							
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		調査回数（回）		5	5	5	5	5	
活動指標		調査・整理資料点数（点）		500	500	500	500	500	
他市との比較検証		名古屋市と安城市では、市史の刊行は完結し、博物館が必要に応じて調査を実施している。							
C 事業 コスト V		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		5,033	3,745	4,924	5,478	合計	4,924,039 円	
	財源	特定財源	153	41	196	107	賃金	1,760,160 円	
		一般財源	4,880	3,704	4,728	5,371	需用費	3,064,171 円	
	職員人件費 ②		1,172	1,163	1,157	1,200	役務費	56,228 円	
	総事業費（①+②）		6,205	4,908	6,081	6,678	使用料及び賃借料	36,880 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			埋蔵文化財調査整理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	2					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	試掘調査や緊急発掘調査により市内の遺跡から出土した遺物および調査記録を整理・保存する。			
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	埋蔵文化財の保存・活用を図る。			主たる内容	試掘調査や緊急発掘調査により市内の遺跡から出土した遺物および調査記録を整理・保存する。				
	位置づけ	関連計画								
	根拠法令	文化財保護法								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		—		—		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 760件 ・試掘調査 36件 ・工事立会 29件 ・緊急発掘調査 2件 ※発掘調査出土遺物整理事業と埋蔵文化財発掘調査事業から移行		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 750件 ・試掘調査 30件 ・工事立会 20件 ・緊急発掘調査 2件		
成果		A1判の遺跡地図を作製し照会業者に配布したことで、増加傾向にある窓口照会業務の効率化・職員の負担軽減をすることができた。緊急発掘調査は、調査規模が比較的小さかった宮東第1号貝塚については直営で実施し、比較的調査規模が大きかった前屋敷第1号貝塚については民間事業者・民間調査会社・市の3者協定による調査を初めて導入し、市は監督者として調査にあたった。いずれも1次整理まではすべて実施することができた。								
課題		歴史博物館が5月に竣工し12月から職員が歴史博物館へ移ったことで、本庁職員の窓口照会の負担が増加した。宮東第1号貝塚の調査について、調査規模は小さかったが溝や人骨の検出で想定以上に作業量が多く、課内の別係の職員や部内の他課の職員の応援を求めざるをえなかった。今後は博物館業務をもちながら発掘調査を行わなければならない、体制の確保が課題である。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		1次整理作業実施率（％）				—	—	100	100	100
活動指標		2次整理作業実施件数（件）				—	—	2	—	—
他市との比較検証		安城市では埋蔵文化財の有無照会をはじめとする業務を基本的に歴史博物館で行っている。また、博物館では展示等を行う学芸係と発掘調査を含む文化財調査を行う文化財係に分かれている。西尾市では遺跡地図をGISで公開している。								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	9,410	13,778	合計	9,409,607 円		
	財源	特定財源	0	0	2	37	賃金	7,030,150 円		
		一般財源	0	0	9,408	13,741	報償費	25,600 円		
	職員人件費 ②		0	0	4,645	3,251	旅費	5,780 円		
	総事業費（①+②）		0	0	14,055	17,029	需用費	98,653 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称					
	30年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入					
	2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設改修事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	6	担当係	歴史博物館					
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	刈谷市郷土資料館の施設を改修することで、さらなる来館者の増加を図る。				主たる内容	市内で使われていた唯一の丸型ポストを、保存と来館者への公開のため、郷土資料館の敷地内へ移設する。		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者					事業期間	平成30年度 ~ 平成30年度		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
				・丸型ポスト移設工事					
成果		市内に唯一残存していた丸型ポストを移設することで、歴史的資産の保存を図ることができた。							
課題		展示物である丸型ポストを活用するなど、今後どのように周知を図っていくかが課題である。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		工事進捗率（％）			—	—	100	—	—
活動指標									
他市との比較検証		近隣では、西尾市が丸型ポストを抹茶色にするなど積極的なPRを行っている。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	691	0	合計	691,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	691,000 円	
		一般財源	0	0	691	0			
	職員人件費 ②		0	0	23	0			
	総事業費（①+②）		0	0	714	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							